

指定管理者管理運営状況評価

施設名	千葉県袖ヶ浦福祉センター
指定管理者	社会福祉法人千葉県社会福祉事業団
指定管理期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
評価対象年度	平成24年度
第三者評価の有無（今回）	有
施設所管課	健康福祉部 障害福祉課

評価項目		評価	評価理由等
(1) 管理業務 の実施状 況に関する事項	施設の設置目的・法令等の遵守等 ※	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者総合支援法、児童福祉法等の関係法令を遵守し、強度行動障害等の重度障害の支援を積極的に行った。 ・ 個人情報保護規程に基づき、個人情報の適正管理に努めた。 ・ 経理規程に基づき、適正な経理処理に努めた。
	安全性の確保 ※	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスクマネジメントマニュアルに基づき、事故防止に努めた。 ・ 総合防災訓練を年1回、避難訓練を月1回実施するなど、適正な災害対策に努めた。
	適切な財産管理	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術職員の配置、専門業者への保守点検委託により施設の適正な管理を行った。 ・ 施設において日常的に発生する器物破損の修理から利用者の安全確保のための施設改修に対応した。
(2) 事業の企画運営に関する事項	事業の実施（必須事業） ※	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 強度行動障害のある方等の支援では、専門家による指導・助言により、利用者が安定した生活が維持できるように努めた。 ・ 障害者支援施設「更生園」利用者の地域移行に務めた。 ・ 地域で生活する障害者等の医療と健康のニーズに対応するように努めた。 ・ 「地域づくりフォーラム」の開催、研修会の実施等により、積極的な情報発信に努めた。 ・ 給食の提供状況は、利用者の嗜好を加味しつつ栄養に配慮した給食を提供し、個人の状況に合わせて、アレルギー対応や刻み食等の提供、医師の指示に基づくカロリーコントロール、糖尿病等の治療食にも対応した。
	サービスの向上 自主事業 地域の連携等	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者から直接意見を伺うことが困難であるため、支援員がその都度問いかけを行い、適切な支援を行った。 ・ 地域や関係団体との交流を深めるため、「ふれあい祭り」等の行事を行ない、地域行事にも積極的に参加した。 ・ 自主事業としては、障害者支援施設「アドバンスながうら」、児童サービスセンター、就労支援センター、ながうら地域支援センター、代宿地域支援センターの運営を行った。

(3) 施設利用状況に関する事項	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者支援施設「更生園」では、利用率は 95.2%であった。 ・ 福祉型障害児入所施設「養育園」では、利用率 95.9%であった。
(4) 運営体制	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重度の障害者等への支援に特化していることから、人員配置基準を上回る職員を配置し、利用者を主体とするサービス提供に努めた。
(5) 収支状況・財務状況	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収支決算の状況は、収入総額、支出総額ともに計画と比較して適性に執行されており、指定管理者の財務状況は健全である。 ・ 電力使用量、水道使用量の削減に努めた。
(6) 利用者意見の反映 利用者満足度	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者に直接アンケートを実施することは困難であるため、支援員がその都度問いかけを行い、適切な支援を行った。 ・ 家族会等において、父兄等へアンケートを実施した。 ・ また、市町村、家族会との連携により利用者一人ひとりの特性を把握し、適切な支援に努めた。
総 合 評 価	良好	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね適正な管理運営が実施された。 ・ 今後も利用者ニーズを的確に把握し、利用者一人ひとりの特性に配慮した適切な支援に努めること。

特記事項	特に評価される点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者ニーズを的確に把握し、利用者主体のサービス提供を心掛けた。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	特になし

その他

第三者評価における その他の意見	<p>(第三者評価を実施した場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 袖ヶ浦福祉センターの強度行動障害等に対する支援の実績は評価できる。 ・ 外部の会計監査の導入について検討して欲しい。
---------------------	---

指定管理者管理運営状況評価

施設名	千葉県袖ヶ浦福祉センター
指定管理者	社会福祉法人千葉県社会福祉事業団
指定管理期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
評価対象年度	平成23年度
第三者評価の有無（今回）	無
施設所管課	健康福祉部 障害福祉課

評価項目		評価	評価理由等
管理業務の実施状況に関する事項	施設の設置目的・法令等の遵守等 ※	B	<ul style="list-style-type: none"> 障害者自立支援法、児童福祉法等の関係法令を遵守し、強度行動障害等の重度障害の支援を積極的に行った。 個人情報保護規程に基づき、個人情報の適正管理に努めた。
	安全性の確保 ※	B	<ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメントマニュアルに基づき、事故防止に努めた。 総合防災訓練を年1回、避難訓練を月1回実施するなど、適正な災害対策に努めた。
	適切な財産管理	B	<ul style="list-style-type: none"> 技術職員の配置、専門業者への保守点検委託により施設の適正な管理を行った。 施設において日常的に発生する器物破損の修理から利用者の安全確保のための施設改修に対応した。
事業の企画運営に関する事項	事業の実施（必須事業） ※	B	<ul style="list-style-type: none"> 強度行動障害のある方等の支援では、専門家による指導・助言により、利用者が安定した生活が維持できるように努めた。 地域で生活する障害者等の医療と健康のニーズに対応するように努めた。 「地域づくりフォーラム」の開催等により、積極的な情報発信に努めた。 給食の提供状況は、利用者の嗜好を加味しつつ栄養に配慮した給食を提供し、糖尿病等の治療食にも対応した。
	サービスの向上 自主事業 地域の連携等	B	<ul style="list-style-type: none"> 利用者から直接意見を伺うことが困難であるため、支援員がその都度問いかけを行い、適切な支援を行った。 地域や関係団体との交流を深めるため、「ふれあい祭り」等の行事を行ない、地域行事にも積極的に参加した。 自主事業としては、知的障害者授産施設「ながうらワークホーム」、グループホーム、児童デイサービスの運営を行った。また、23年度に「ジョブくらなみ」を開設した。
施設利用状況に関する事項		B	<ul style="list-style-type: none"> 障害者支援施設「更生園」では、利用率は77.2%であった。

		<ul style="list-style-type: none"> 知的障害児施設「養育園」では、利用率 98.3%であった。
運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> 重度の障害者等への支援に特化していることから、人員配置基準を上回る職員を配置し、利用者を主体とするサービス提供に努めた。
収支状況 財務状況	B	<ul style="list-style-type: none"> 収支決算の状況は、収入総額、支出総額ともに計画と比較して適性に執行されており、指定管理者の財務状況は健全である。 電気使用量の削減に努めた。
利用者意見の反映 利用者満足度	B	<ul style="list-style-type: none"> 利用者に直接アンケートを実施することは困難であるため、支援員がその都度問いかけを行い、適切な支援を行った。 また、市町村、家族会との連携により利用者一人ひとりの特性を把握し、適切な支援に努めた。
総 合 評 価	良好	<ul style="list-style-type: none"> 概ね適正な管理運営が実施された。 今後も利用者ニーズを的確に把握し、利用者一人ひとりの特性に配慮した適切な支援に努めること。 不適正な経理処理の再発防止に努めること。

特記事項	特に評価される点	<ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズを的確に把握し、利用者主体のサービス提供を心掛けた。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	特になし

その他

第三者評価における その他の意見	(第三者評価を実施した場合)
---------------------	----------------

指定管理者管理運営状況評価

施設名	千葉県袖ヶ浦福祉センター
指定管理者	社会福祉法人千葉県社会福祉事業団
指定管理期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
評価対象年度	平成22年度
第三者評価の有無（今回）	無
施設所管課	健康福祉部 障害福祉課

評価項目	評価	評価理由等
管理業務の 実施状況に 関する事項 施設の設置 目的・法令 等の遵守 ※	B	<ul style="list-style-type: none"> 障害者自立支援法、児童福祉法等の関係法令を遵守し、強度行動障害等の重度障害の支援を積極的に行った。 個人情報保護規程に基づき、個人情報の適正管理に努めた。
安全性の確保 ※	B	<ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメントマニュアルに基づき、事故防止に努めた。 防災訓練を月1回実施するなど、適正な災害対策に努めた。
適切な財産管理	B	<ul style="list-style-type: none"> 技術職員の配置、専門業者への保守点検委託により施設の適正な管理を行った。 施設において日常的に発生する器物破損の修理から利用者の安全確保のための施設改修に対応した。
事業の企画運営に 関する事項 事業の実施 (必須事業) ※	B	<ul style="list-style-type: none"> 強度行動障害等の支援では、専門家による指導・助言により、利用者が安定した生活が維持できるように努めた。 地域で生活する障害者等の医療と健康のニーズに対応するように努めた。 「地域づくりフォーラム」の開催等により、積極的な情報発信に努めた。 給食の提供状況は、利用者の嗜好を加味しつつ栄養に配慮した給食を提供し、糖尿病等の治療食にも対応した。
サービスの向上 自主事業 地域の連携等	B	<ul style="list-style-type: none"> 利用者から直接意見を伺うことが困難であるため、支援員がその都度問いかけを行い、適切な支援を行った。 地域や関係団体との交流を深めるため、「ふれあい祭り」等の行事を行った。 自主事業としては、知的障害者授産施設「ながうらワークホーム」、グループホーム、児童デイサービスの運営を行った。
施設利用状況に関する事項	B	<ul style="list-style-type: none"> 知的障害者更生施設「更生園」では、利用率は85.5%であった。 知的障害児施設「養育園」では、利用率100.5%であっ

		た。
運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> 重度の障害者等への支援に特化していることから、人員配置基準を上回る職員を配置し、利用者を主体とするサービス提供に努めた。
収支状況 財務状況	B	<ul style="list-style-type: none"> 収支決算の状況は、収入総額、支出総額ともに計画と比較して適性に執行されており、指定管理者の財務状況は健全である。
利用者意見の反映 利用者満足度	B	<ul style="list-style-type: none"> 利用者に直接アンケートを実施することは困難であるため、支援員がその都度問いかけを行い、適切な支援を行った。 また、市町村、家族会との連携により利用者一人ひとりの特性を把握し、適切な支援に努めた。
総 合 評 価	良好	<ul style="list-style-type: none"> 概ね適正な管理運営が実施された。 今後も利用者ニーズを的確に把握し、利用者一人ひとりの特性に配慮した適切な支援に努めること。 不適正な経理処理の再発防止に努めること。

特記事項	特に評価される点	<ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズを的確に把握し、利用者主体のサービス提供を心掛けた。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	特になし

その他

第三者評価における その他の意見	(第三者評価を実施した場合)
---------------------	----------------

指定管理者管理運営状況評価

施設名	千葉県袖ヶ浦福祉センター
指定管理者	社会福祉法人千葉県社会福祉事業団
指定管理期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
評価対象年度	平成21年度
第三者評価の有無（今回）	無
施設所管課	健康福祉部 障害福祉課

評価項目	評価	評価理由等
管理業務の実施状況に関する事項 施設の設置目的・法令等の遵守等 ※	B	<ul style="list-style-type: none"> 知的障害者福祉法、児童福祉法等の関係法令及び管理の基準を遵守し適切な管理運営を行うとともに、強度行動障害等の重度障害の支援を積極的に行った。 個人情報保護規程に基づき、個人情報の適正管理に努めた。 県への報告は適切に行われている。
安全性の確保 ※	B	<ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメントマニュアルに基づき、事故防止に努めた。 防災訓練を月1回実施し、適正な災害対策に努めた。
適切な財産管理	B	<ul style="list-style-type: none"> 技術職員の配置、専門業者への保守点検委託により施設の適正な管理を行った。 施設において日常的に発生する器物破損の修理から利用者の安全確保のための施設改修に対応した。
事業の企画運営に関する事項 事業の実施（必須事業） ※	B	<ul style="list-style-type: none"> 強度行動障害等の支援では、専門家による指導・助言により、利用者が安定した生活が維持できるように努めた。 地域生活移行の取り組みでは、家族との個別面談により具体的な情報提供や説明を行い、不安感の解消を行った。 地域で生活する障害者等の医療と健康のニーズに対応するように努めた。
サービスの向上 自主事業 地域の連携等	B	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の定期健診は年間計画に基づき実施し、医療的ケアを要する利用者には病状や精神・運動機能の改善を目指し積極的な支援を行った。 地域や関係団体との交流を深めるため、「ふれあい祭り」等の行事を行った。 「地域づくりフォーラム」の開催等により、積極的な情報発信に努めた。
施設利用状況に関する事項	B	<ul style="list-style-type: none"> 知的障害者更生施設「更生園」では、2名の地域生活移行により利用率は87.4%であった。 知的障害児施設「養育園」では、利用率100.2%であった。

運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重度の障害者等への支援に特化していることから、人員配置基準を上回る職員を配置せざるを得ないが、効率的で柔軟性のある職員配置に努めた。
収支状況 財務状況	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収支決算の状況は、収入総額、支出総額ともに計画と比較して適正に執行されており、指定管理者の財務状況は健全である。
利用者意見の反映 利用者満足度	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者から直接アンケートを実施することは困難であるため、支援員がその都度問いかけを行い、適切な支援を行った。
総 合 評 価	良好	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね適正な管理運営が実施された。 ・ 今後も利用者ニーズを的確に把握し、利用者一人ひとりの特性に配慮した適切な支援に努めること。 ・ 不適正な経理処理の再発防止に努めること。

特記事項	特に評価される点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 強度行動障害者の支援については、専門家の指導・助言により適切な支援が行われた。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	特になし

その他

第三者評価における その他の意見	(第三者評価を実施した場合)
---------------------	----------------